



2022年度 前期
学生による授業改善アンケート集計結果

大学院看護学研究科修士課程

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】	3
2.	【演習】	4
3.	【実習】	5
4. 授業改善アンケート結果	【講義-全体】	6
5. 教員からのコメント一覧	【講義】	7
6. 授業改善アンケート結果	【演習-全体】	11
7. 教員からのコメント一覧	【演習】	12
8. 授業改善アンケート結果	【実習-全体】	13

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	教員が提示した文献・資料などは学習を進めるのに役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員の説明や発問、意見交換の促し方 / ファシリテートの仕方は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	課題提示の方法は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容や範囲は適切であった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業分野に関する基本的概念や新たな知見や考え方などを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	授業に参加してさらに当該科目への興味をもち、深く学びたいと思った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	授業を受ける上での重要な情報はシラバス、その他配布資料等で示されていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	授業はシラバスの趣旨と内容に沿って展開されていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	授業の進行速度は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員は院生間の議論や協力、学習の促進を刺激するように関わっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は大学院生の反応や意見、質問に適切に対応した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	あなたは授業に意欲的/主体的・積極的に取り組みましたか(自分のプレゼンテーションを含む)。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	あなたは他の大学院生の学習を刺激するような意見交換ができましたか。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	あなたは、事前学習・事後学習をして取り組みましたか。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	この授業に対して、どのような問題意識や期待をもっていたか、聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
18	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

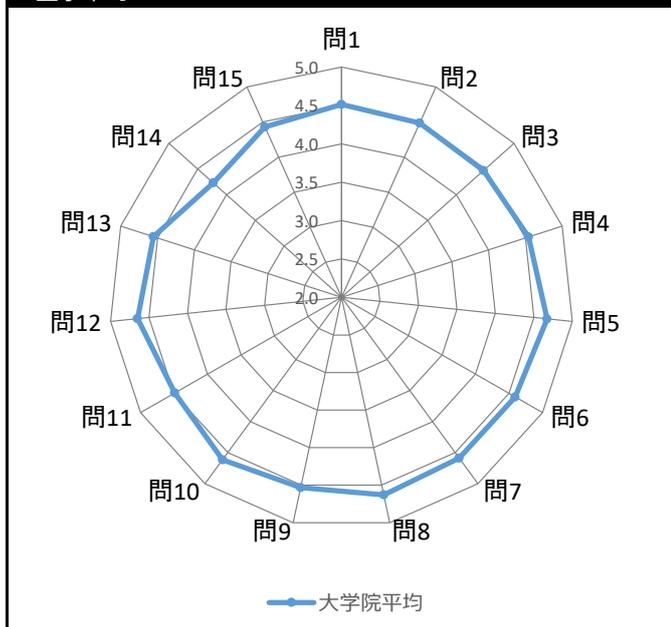
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

<h1>大学院</h1>		履修者数	354	回答率		
		回答数	紙	271	77%	77%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大学院平均
1	教員が提示した文献・資料などは学習を進めるのに役立った。	150	111	9				4.51
2	教員の説明や発問、意見交換の促し方 / ファシリテートの仕方は適切だった。	150	105	13				4.48
3	課題提示の方法は適切だった。	149	102	17				4.47
4	授業の内容や範囲は適切であった。	165	88	18				4.54
5	授業分野に関する基本的概念や新たな知見や考え方などを深めることができた。	187	78					4.67
6	授業に参加してさらに当該科目への興味をもち、深く学びたいと思った。	175	83	9				4.59
7	授業を受ける上での重要な情報はシラバス、その他配布資料等で示されていた。	168	96					4.59
8	授業はシラバスの趣旨と内容に沿って展開されていた。	175	91					4.63
9	授業の進行速度は適切だった。	156	104	10				4.53
10	教員の熱意が伝わってきた。	183	75	11				4.62
11	教員は院生間の議論や協力、学習の促進を刺激するように関わっていた。	160	88	18				4.49
12	教員は大学院生の反応や意見、質問に適切に対応した。	180	87					4.65
13	あなたは授業に意欲的/ 主体的・積極的に取り組みましたか (自分のプレゼンテーションを含む)。	158	104					4.56
14	あなたは他の大学院生の学習を刺激するような意見交換ができましたか。	119	103	41				4.23
15	あなたは、事前学習・事後学習をして取り組みましたか。	140	113	14				4.43
問1~15全問平均								4.53

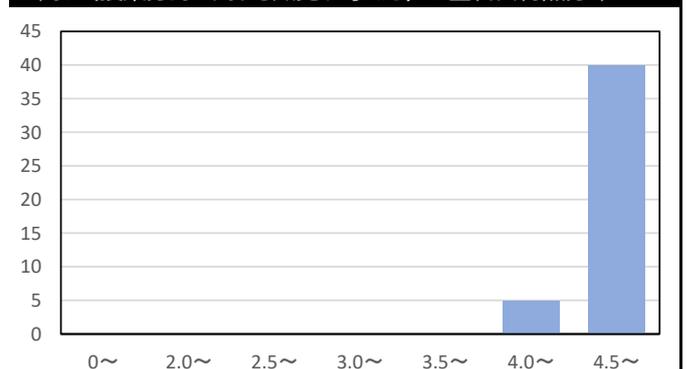
■ 全学平均



グラフ凡例	配点	問1~15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■ 問5 (授業分野に関する知見や考え方) の全科目得点分布



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
M00101	基礎看護学特講Ⅰ	川原由佳里 岡田彩子 細野知子	概念的思考について学ぶ授業でした。さまざまな研究関心のもとに選ばれた概念をそれぞれに探求するプロセスを学ぶことができ、よかったです。
M00103	基礎看護学特講Ⅲ	川原由佳里 細野知子	授業評価をありがとうございました。テキストに沿っての学習となりますが、科学的とは、科学の伝統や規範について学びながら、看護について考えることができたと思います。お疲れさまでした。
M00201	がん看護学特講Ⅰ	守田美奈子 樋口佳栄	最新のがん治療に関して、最前線の医師から講義を受けたことで高い評価を頂きました。内容の追加へのご意見も頂きましたので、検討しながら授業改善に取り組んでいきたいです。
M00203	がん看護学特講Ⅲ	吉田みつ子	受講者が少ない中、毎回のプレゼンテーションは大変だったと思いますが、ほんとうによく学ばれたと思います。教員もともに、多くのことを学べる授業になりました。
M00301	小児看護学特講Ⅰ	江本リナ	看護学専攻の履修者が少ないなか、それぞれがプレゼンテーションをし、プレゼンテーションの内容は大変充実していたと思います。深く理論を学び、学びを振り返るという機会が良かったとの感想もいただきました。これからもそのような学びに繋がるような授業展開を考えて参ります。
M00304	小児看護学特講Ⅳ	江本リナ	概ね高い評価をいただきありがとうございました。対面授業によりディスカッションが活発であったとの感想をいただきました。院生同士の意見交換の機会になり嬉しく思います。幅広いテーマであったため、課題の選定に戸惑ったとの感想もありました。根拠をもって自分なりの焦点の当て方でよいですし、どのようにプレゼンテーションするかも院生の力の見せどころではありますが、その意図が十分に伝わっていなかったのかもかもしれません。次年度に活かして参ります。
M00501	クリティカルケア看護学特講Ⅰ	三浦 英恵	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。英語文献を読むのはとても大変だったと思いますが、多くの学びが得られたことと思います。これからも講義での学びやディスカッションをより促進できるような工夫をし、ご意見のあった授業資料については、なるべく早めに提示できるように準備をしていきたいです。
M00502	クリティカルケア看護学特講Ⅱ	三浦 英恵	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。専門看護師の方からの講義を通して、多くの学びが得られたことと思います。履修生の数を増やすことは難しいですが、これからも講義での学びやディスカッションをより促進できるような工夫をしていきたいです。
M00505	クリティカルケア看護学特講Ⅴ	三浦 英恵	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。医師の方からの講義を中心に、最新の知見、アセスメント、医学的判断の過程など多くの学びが得られたことと思います。これからも講義での学びやディスカッションをより促進できるような工夫をしていきたいです。
M00601	慢性看護学特講Ⅰ	本庄 恵子	授業改善アンケートのご協力をありがとうございました。授業分野に関する概念や知見を学び、授業に参加する中でさらなる興味をもてたこと、理論に関してもディスカッションで理解を深められたことが伝わってきました。より有意義なディスカッションとなるよう、引き続き授業の運営方法を工夫していきます。
M00602	慢性看護学特講Ⅱ	田中孝美	授業改善アンケートのご協力をありがとうございました。授業分野に関する概念や知見を学び、プレゼンテーションやディスカッションで考えを深められたことが、とてもよく伝わってきました。今後も、科目の目的をふまえて、皆さんの関心を掘り下げ、それぞれの思考や実践力の基盤となる知識や考え方を学修できるよう、引き続き授業の運営方法を工夫していきます。
M00605	慢性看護学特講Ⅴ	田中孝美	授業改善アンケートのご協力をありがとうございました。授業分野に関する概念や知見を学び、授業に参加する中で、さらなる興味をもてたことが、伝わってきました。より有意義なディスカッションとなるよう、引き続き授業の運営方法を工夫していきます。
M00701	老年看護学特講Ⅰ	坂口千鶴	授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございました。アンケート結果や皆様から頂いた貴重なご意見を、今後の授業内容に反映していきたいです。今後ともよろしくお願い致します。
M00702	老年看護学特講Ⅱ	坂口千鶴他	授業改善アンケートへのご協力、ありがとうございました。今回のアンケート結果と皆様からのご意見を授業内容に反映していきたいです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

M00802	精神保健看護学特講Ⅱ	堀井湖浪	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。授業資料、教材、授業内容、運営については概ね良い評価をいただきありがとうございます。受講生の自己評価については、実践経験やプレゼンテーションの内容に基づいたディスカッションを工夫することで改善していきたいと考えます。
M00804	精神保健看護学特講Ⅳ	松本佳子	授業に関して、コメントをよせていただきまして、ありがとうございます。今回いただいたコメント「普段読むことのなかった分野であり文献など少し事前に紹介していただけるとありがたいと思いました」を、来年度からの授業運営に反映させていきたいと考えております。引き続き、学びやすい環境を作ることを念頭におきつつ、学生の皆さんの興味関心がさらに深まるような授業内容を構成していきたいと考えております。このたびは、率直なご意見をありがとうございました。
M00901	地域・在宅看護学特講Ⅰ	石田千絵	多領域の大学院生の皆様とご一緒できてとても有意義な時間となりました。様々な専門性を持つ方々とのディスカッションは、多職種連携に近いものがあったと思います。課題の提示の方法に課題があったようなので、次年度は気をつけていきたいと思ひます。この科目に参加された方々が、今後も様々な場所で繋がりを創造していく姿を夢見ております。
M01001	看護教育学特講Ⅰ	佐々木幾美	授業改善アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。非常に良い評価をいただけたと考えています。学生だけでは学ぶことが難しい内容をよく学んでいただけたと思います。後半は学生によるプレゼンテーションでしたが、積極的に意見交換ができ、良い学びにつながったと考えております。次年度も同じような方法で展開したいと考えております。
M01002	看護教育学特講Ⅱ	佐々木幾美・西田朋子	授業改善アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。良い評価をいただけたと考えています。模擬授業を組み立てるグループワークがあったことを評価していただきました。資料の提示については考慮していきたいと考えております。次年度も同じような方法で展開したいと考えております。
M01101	看護管理学特講Ⅰ	安部陽子	コメントをいただきありがとうございます。事例の提示について検討します。また、講義時間を構成に入れるかどうかを検討したいと思います。
M01105	医療経済学	古川祐子	今年度は学生が2名と少なかった分、深くディスカッションできた。学生の発表担当の負担軽減を考慮し、教員2名も2〜3コマの発表を担当したことで、例年よりも「共に学ぶ視点」がもてたことはよかったです。
M01215	災害看護学特講Ⅰ	内木美恵	積極的に授業に参加しておられたことが分かりました。ディスカッションが効果的だったとの意見が多くありました。貴重な意見をありがとうございました。次年度の授業に活かしていきたいと思ひます。
M01217	災害看護活動論Ⅲ	内木美恵	積極的に授業に参加しておられたことが分かりました。事例から学びを深める、ディスカッションから自分にはない視点を見つける等、学びを深めておられ、今後も活発な意見交換ができるよう環境を作りたいと思ひます。貴重な意見をありがとうございました。次年度の授業に活かしていきたいと思ひます。
M01219	災害看護活動論Ⅴ	内木美恵	事前・事後の取り組みが難しいことが分かりました。改善していきたいと思ひます。事例を交えた講義に興味深いとの意見がありましたので、今後も事例を活用した講義にするよう努めていきます。貴重な意見をありがとうございました。次年度の授業に活かしていきたいと思ひます。
M01313	英語講読Ⅰ	川崎 修一	過分評価をありがとうございました。頂いたコメントを基に授業改善に取り組みたいと思ひます。
M01320	赤十字概論Ⅱ	角田敦彦	受講者は3名と少ないのが残念でしたが、皆さん積極的に授業に参加していただきました。評価全体としては概ね肯定的な評価をいただきましたが、自由記述にあったように、学習の双方向性（でいくッション）を確保するよう、発問や授業の進め方を工夫していきたいと思ひます。
M01321	教育学概論	渋谷 真樹	授業構成が概観できることや文献を多く紹介したことには、肯定的なご意見をいただきました。一方、次の講義に遅れるので時間配分に考慮してほしいとのご意見がありました。ごもっともですので、次回からは授業時間を超すことがないように留意していきます。
M01322	学習心理学	遠藤公久	平均点が全体平均点より下まったことについて、反省したいと思ひます。自由記述の内容からすると、時間が後ろに長引いてしまったことについて改善したいと思ひます。

M01324	教育学特講	渋谷 真樹	授業にディスカッションを取り入れ、自由に発言する雰囲気があったことがよいとのご意見をいただきました。一方で、発言者がやや偏っていたので、授業者が指名するのもよい、とのご意見がありました。ぜひ次回からの参考にしていきます。授業内容は興味深く、学生の意見を反映しているのもよいのご意見の一方で、時間が足りないのご意見がありました。効率的な授業展開に、より工夫を重ねていきたいと思ひます。
M01326	看護教育論	西田 朋子	履修して下さった皆さんありがとうございました。アンケート回答率が3割程度と少ない結果だったのは残念でしたが、遠隔授業での実施だったため、アンケート用紙を手に入れることや提出することが大変だったかもしれません。今後改善していきます。アンケートに回答していただいた皆さんからはよい評価をいただきありがとうございました。ブレイクアウトルームでのディスカッションが有益だったことがわかりました。他領域およびさまざまなご経験のある学生同士の意見交換から気づくことも多いと思ひます。対面ではなかったため担当教員の教育論をもっと聞きたかったというご意見もありましたが、これについても折に触れてお伝えするように努力してまいります。ありがとうございました。
M01327	看護管理論	古川祐子	仕事との両立で課題が進まない学生がいたが、完成版ではなくても提出しようとしていたことはよかった。看護管理者と看護管理に携わっていない学生がともに学ぶことの利点はあるが、学生によっては基礎編だけでなく内容のレベルの高い課題図書を紹介を求める学生もあり、今後に生かしたい。教員2名が討議に参加したことにより、コメントの幅が広がったのではないかと思われた。また、教員のマイクの音量にむらがあったという学生が3名いた。授業の初めに音量を必ず確認していたが、原因を調査したい。
M01329	看護研究	佐々木幾美 本庄恵子 江本リナ	授業改善アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。グループでより深く学ぶことができたことやさまざまな研究方法を知ることができたことなどのコメントをいただきました。これらは次年度も継続していく予定です。皆さんが積極的に授業に参加をして努力して下さってよい学びができたと考えております。一方、グループの分け方やオンラインでの進め方についてはいくつかのコメントをいただいておりますので、次年度は対応を考えていきます。
M01333	フィジカルアセスメント	田中孝美	授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。「フィジカルアセスメント」では、CNSが対象とする複雑で解決困難な看護問題を有する方の理解とケアの基盤となる体系的な身体診察技術に加え、多義的な問診技術についても、成長発達と災害状況の観点を組み入れて学修していただいたことが伝わってきました。新型コロナウイルス感染症に対する感染予防や、勤務を継続しながら履修する方々の安全をはかるため、総合演習は完全リモートに切り替えることになりました。本アンケートにおいても発表に関するご意見をありがとうございました。どんな発表にしていきたいかは履修される皆さんのアイデアを生かしていただくことを期待してましたし、各グループの個性ある発表から学びあうことにつながったのではないかと考えています。いただいた貴重なご意見は、今後の検討にいかしてまいります。
M01334	病態生理学	井上明宏	・受講生のプレゼン準備は、どの回も非常に充実していてすばらしかったです。・CNS共通科目ということで、自身の興味ある内容だけではなく、むしろその他の分野についてもより深く知り、考える機会のための科目という捉え方がよいと思ひます。自身の専門領域については、専門の科目で学ぶ機会が多々あると思ひます。・GW課題の提示のタイミングが遅いという点については、2週間では厳しいということですが、その間にも他の分野のコマが入ったりして入り組んでくるため、講義から演習発表まであまり離れないようにしていましたが、今後検討します。性質上、講義を踏まえて事例課題を提示していただき、そこから演習に取り組むという流れを踏襲しています。全体を通して2回の担当で、たまたま他のプレゼンとかぶってしまったところまではコントロールするのは難しいですが、受講生や講師の都合がつけば対応するようにしたいと思ひます。
N00101	ウィメンズ・ヘルス・プロモーション概論	新田真弓	回答いただきありがとうございました。皆さんがとても前向きに取り組んでいただいたよう良かったです。本講義を通じて関連する概念や理論を整理することで、その後の学びにつながっていくことを期待しております。講義の課題や展開についても、さらに学びが充実するように検討していきます。
N00201	国際保健助産論Ⅰ	新田真弓	回答・ご意見ありがとうございました。国際的な課題を検討するにあたって、基本的な概念や知識を学ぶ機会となってよかったです。特に学生の皆さんの活動報告が共有できたことが良かったとのご意見もありましたので、今後より充実した内容になるように検討したいと思ひます。

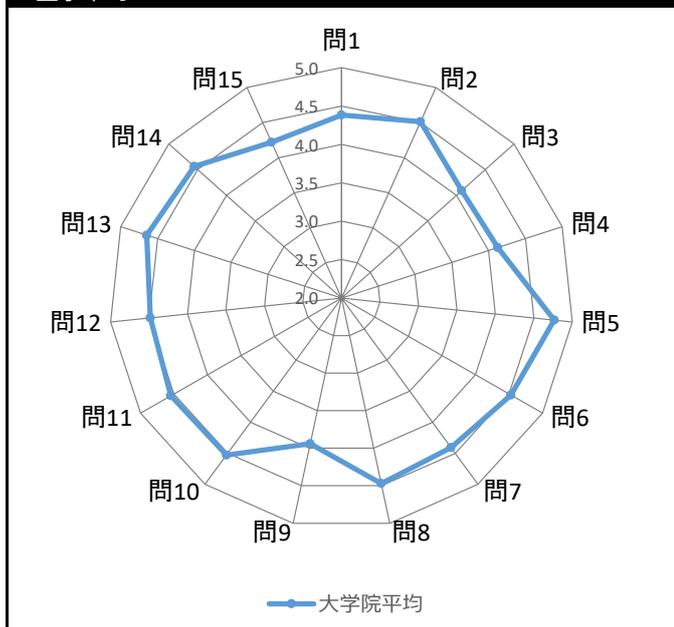
N00301	赤十字概論Ⅱ	角田敦彦	今回、1名しか回答いただけなかったのが残念でした。しかしながらアンケートへの回答率も評価の一部とすれば、授業への関心があまり高くなかったとも言えそうです。今後の授業展開の参考にさせていただきます。
N00302	看護研究特講	佐々木幾美 本庄恵子 江本リナ	授業改善アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。クリティークが行えたことや、さまざまな研究方法を知ることができたことについてのコメントをいただきました。これらは次年度も継続していく予定です。皆さんが積極的に授業に参加をして努力してくださってよい学びができたと考えております。グループワークの進め方については、検討していきたいと考えています。
N00304	発達と家族の理論	江本リナ	概ねよい評価をいただきありがとうございました。理論提唱者に関する資料がなく困ったとの感想をいただきました。理論家の書籍を探す際、全ての理論家にあたることは難しいかもしれませんが、手に入りにくいと思ったものは、ぜひ図書館へリクエストしてくださいと次年度の院生に活用してもらおうことができると思います。
N00401	基礎助産学特講Ⅰ	齋藤英子	ご意見ありがとうございます。助産師・助産活動としての基盤となっていく内容について、学生発信型のプレゼンテーションとディスカッションにより学びを深められており安堵しました。そのセッションの学習目標・内容・教材を考慮しつつ、みなさんと一緒に課題の提示を洗練、明確にしていきたいと思います。次年度へいかしていきたいと思います。
N00402	基礎助産学特講Ⅱ-1	泉玄太郎	フィードバックありがとうございました。事前学習をしても、興味が授業中も持続するような授業を考えていきたいと思っております。
N00403	基礎助産学特講Ⅲ-1	笠井靖代	この講座だけで、産科の全てを扱うことは難しいので、今年度は、講義で扱う内容を昨年度よりも絞り、プレゼンテーションとともに質問や解説の時間を増やしました。ひとり1テーマの発表になり、以前よりは関わったテーマを深く掘り下げられたように思います。大学院生ということもあり、みなさんよくまとめてわかりやすくプレゼンをしていただきました。ありがとうございます。来年度以降、学生さん同士でもっと質問を出すことができたり、テーマを決めてグループごとにディスカッションができるようにしたいと思います。
N00405	基礎助産学特講Ⅲ-2	中尾 厚	私の授業に参加いただきありがとうございます。皆様積極的な姿勢だったので嬉しかったです。助産師として、また共に働く身として実際面で知っていただきたいこと、役立つことを何とかお伝えできたらと思い、授業を行っていますが、年々、授業のボリュームが増えてしまっていることが自身の反省点です。次年度からは授業内容をもう少し整理して、その分、生徒さん同士のディスカッションができないか検討してみます。皆様国家試験に合格して、施設の同異は別として、一緒に働けることを願っています。

<h1>大学院</h1>		履修者数	34	回答率		
		回答数	紙	34	100%	100%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大学院平均	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。								4.38
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。								4.52
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。								4.09
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。								4.13
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。								4.76
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。								4.53
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。								4.41
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。								4.47
9	演習の時間配分は適切だった。								3.94
10	教員の熱意が伝わってきた。								4.53
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。								4.55
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。								4.48
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。								4.65
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。								4.56
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。								4.22
問1～15全問平均								4.41	

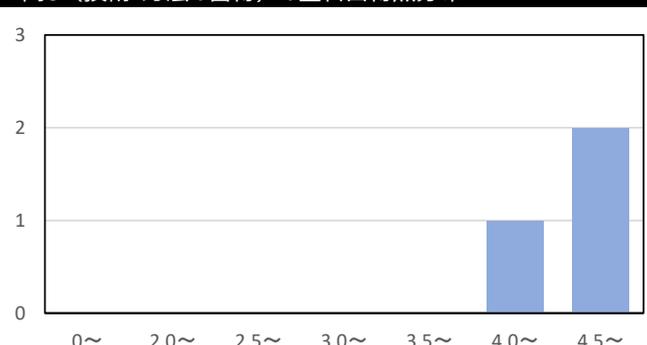
■ 全学平均



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	該当なし
■	-	無回答／不明

<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布



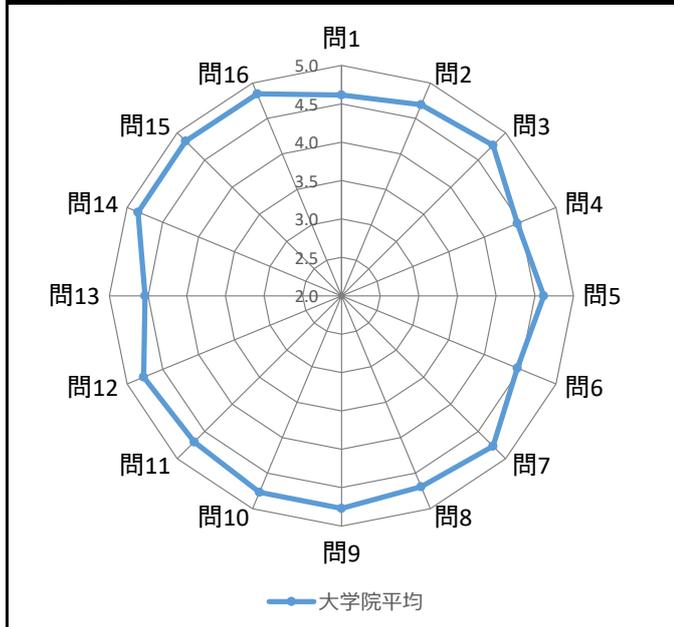
科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
N00452	実践助産学演習Ⅱ	齋藤英子	ご意見ありがとうございます。昨年からの課題であった「ディスカッション時間の確保」は、皆様のご意見から改善できていた様で安堵しました。皆さんがしっかり予習をして取り組んだからこそ、いいディスカッションとなり理解が深められたのだと思います。次年度にむけて、事前学習範囲の指定を誤ることなく、アピールタイムで学びが深まるよう改善していきたいと思います。
N00453	実践助産学演習Ⅲ	齋藤英子	ご意見ありがとうございます。昨年からの課題であった「事前学習内容の提示」「リフレクションの方法」は、少し改善できており良かったです。ロールプレイ後の共有時間が感染予防のため少なくなっていますが、グレクサのボードも使うことで学びの共有を補うことができ安堵しました。みなさんの演習前のイメージトレーニングや練習時間があったからこそ、実践的な学び、臨床で使える技術を自分たちで考えながら身に着ける機会となっていたと思います。指定教材のロールモデルの設定、教員による評価とリフレクション方法の統一については、次年度に向けて改善していきたいと思います。

<h1>大学院</h1>		履修者数	17	回答率		
		回答数	紙	13	76%	76%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大学院平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							4.62
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。							4.69
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							4.77
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。							4.46
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。							4.62
6	教員と実習指導の連携が取れていた。							4.46
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。							4.77
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。							4.69
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。							4.77
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。							4.77
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。							4.69
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。							4.77
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。							4.54
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。							4.85
15	学生は、自ら指導・支援を求められることができた。							4.85
16	学生は、体調管理に努めた。							4.85
問1～16全問平均								4.70

■ 全学平均



グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布

